

男女共同参画社会のための情報誌

かすたねっと 62号



小牧市は令和7年1月1日に
市制施行70周年を迎えました



特集 男女共同参画の視点から見た防災

～知って安心!備えて安全!～

電子版はこちらから



男女共同参画情報誌名「かすたねっと」の由来

2枚合わせで音が出て、子どもからお年寄りまで、みんなで楽しめる楽器に
ちなみ、男女共同(共鳴)社会の実現への願いが込められています。

男女共同参画の視点から見た防災を考える

いつ起こるかわからない地震や津波、風水害といった自然災害。30年以内に80%程度の確率で発生する可能性があるといわれている「南海トラフ巨大地震」では、小牧市でも大きな被害がでると予想されています。

災害対策や備えは性別にかかわらず、全ての人のニーズや状況を考慮し、誰一人取り残さないようにする必要があります。

日頃の防災の備えに加えて、何が必要なかを確認するとともに、男女共同参画の視点から考えると、色々なことが分かってきます。



避難所生活どうしよう？

東日本大震災で様々な課題が具体的に浮きぼりになってきました。避難所には、赤ちゃんからお年寄り、外国の方など幅広い世代、様々な人が限られたスペースの中で集団生活をします。そのような中では様々な困りごとや問題が起こります。

例えば…

●更衣室がなく、着替えに苦労した。



●洗濯物を干す場所があったが、男女共用で視線が気になり、下着などを干すことに抵抗があった。



●乳児がいたが、授乳室がなく毛布をかぶり授乳をした。



●女性用品が必要となり、物資をもらいに向かったが、配給担当者が男性で、欲しいと言えなかった。



●力仕事などで毎日疲れ切っているが、家族の前では気丈に振舞ってしまい、余計ストレスが溜まってしまった。

…etc



上記の例はあくまでも一例であり、実際はより多くの問題が起こることがあります。このような問題が発生した場合はためらわず、運営組織へ相談しましょう。

災害時は避難所の運営に参加してみましょう！

「小牧市避難所開設運営マニュアル」の中では、特に女性への配慮が必要であるため、避難所の運営を担う組織である避難所運営委員会の構成員のうち、女性の割合が3割以上となるよう努めとあります。女性の視点を増やすことは、左のページで挙げたような問題を解決することにつながります。

女性が意見を伝え、活躍することにより、今まで、避難所運営の中心となっていた男性の負担を軽減するとともに、多様なニーズに配慮した避難所運営ができるようになります。

また、運営に携わることが難しい場合であっても、困っていること、気になっていることを運営に伝えましょう。意見・要望を伝えることによって、女性と男性のニーズや、影響に配慮した、よりきめ細やかな支援につながります。



我慢をし続けることによって、ストレスが溜まり心身共に影響が出てしまうこともあります。そうならないためにも、困っていることを伝えましょう！

日頃の備えにプラスで安心

基本の防災グッズに加えて、女性特有、それぞれ個人のニーズに合った備えも必要です。チェックリストで確認してみましょう！

女性用品

- ☐ 生理用ナプキン
- ☐ おりものシート
- ☐ サニタリーショーツ
- ☐ 防犯ブザー/ホイッスル
- ☐ 中身が見えないゴミ袋
- ☐ 女性用下着(各種サイズ)

いろんなサイズがあるよ。



他にも服を用意するときは、体温調節がしやすい服、スカートより動きやすいズボンを用意しましょう。

介護を必要とする方がいる家庭

- ☐ 大人用紙おむつ(各種サイズ、女性用、男性用)、おむつ用ビニール袋
- ☐ 尿取りパッド(女性用、男性用)
- ☐ おしりふき
- ☐ 介護食(おかゆ、とろみ食、とろみ剤)
- ☐ 簡易トイレ・据置式洋式トイレ
- ☐ 防犯ブザー/ナースコール
- ☐ 義歯洗浄剤



妊娠婦、子どもがいる家庭

- ☐ 妊娠婦用下着
- ☐ 妊娠婦用衣類
- ☐ 防犯ブザー/ホイッスル
- ☐ 母乳パッド
- ☐ 粉ミルク(アレルギー用含む) または液体ミルク
- ☐ 枕やクッション
- ☐ 授乳用ケープ・バスタオル等(ストールでも可)
- ☐ 乳幼児用飲料水(軟水)
- ☐ 哺乳瓶・人工乳首(ニップル)・コップ(コップ授乳用に使い捨て紙コップも可)・消毒剤・洗剤・洗浄ブラシ等の器具、割りばし
- ☐ 湯沸かし器具・煮沸用なべ(食用と別にする)
- ☐ 離乳食(アレルギー対応食を含む)
- ☐ 皿・スプーン
- ☐ 乳幼児用紙おむつ(各種サイズ、女児用、男児用)、おむつ用ビニール袋
- ☐ おしりふき



みんなで、一緒に確認してより安心！



備蓄については **家族人数 × 最低3日分程度** 準備をしましょう！

防災・復興ガイドラインも
ぜひチェックしてください!



内閣府 男女共同参画局 災害対応力を強化する女性の視点
～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～

<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/guideline.html>



まなび創造館「図書コーナー」のご案内

図書コーナーには、
男女共同参画に関するいろんな
図書を取り揃えているこま! 貸し出し
には、「まなび創造館専用図書カード」の
申込が必要こま。
詳しくはまなび創造館窓口まで。

利用時間:
9時30分から20時
(貸し出しは19時30分)まで

貸し出し期間・数量:
図書 2週間以内 4冊まで
DVD 1週間以内 1本まで

図書コーナー 蔵書の紹介

所蔵していない図書のリクエストも受け付けていますので、ご希望の本がありましたらお気軽にお申し出ください。
(まなび創造館女性センターの性質上、購入希望にお応えできない場合もあります。)

『いぬとわたしの防災ハンドブック』

著:いぬの防災を考える会 PARCO出版



いぬを飼っている、いぬ好きのための、ありそうでなかった防災ハンドブック。被災時には計画的に備えをしていないと自分とペットの両方を守るのは困難です。今日からできる防災対策と避難準備をキュートなイラストと写真で分かりやすく紹介します。

『レスキューナースが教えるプチプラ防災』

著:辻直美 扶桑社



防災グッズをそろえただけでは助かりません! 必要なのは正しい知識と代用テクニック。

「プロでなければ無理なテクニック」や「特別な道具が必要なもの」はなし! お金をかけずに命を守るためのプロのテクニックを伝えます。

『災害・防災の心理学— 教訓を未来につなぐ防災教育の最前線』

著:木村玲欧 北樹出版



災害時における人間の心理や行動が災害過程(時間の経過)と共にどのように変化していくのかを社会調査結果から解説した防災教育の手引書です。

『地震イツモノート』

監修:渥美公秀 編:地震イツモプロジェクト 木楽舎



防災を生活の一部としてとらえ、心構えしていくことの大切さを、証言と絵から体感していく、新しい防災マニュアルです。



SDGs未来都市こまき
こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち



まなび創造館は、ジェンダー平等・男女共同参画を推進しています

編集・発行・問合せ

小牧市 多世代交流プラザ 男女共同参画係(まなび創造館)
〒485-0041 小牧市小牧三丁目555番地
TEL.0568-71-9842

<http://www.city.komaki.aichi.jp>

小牧市の公式サイトよりアクセスできます

令和7年10月1日発行